

北九州高速鉄道株式会社

北九州高速鉄道株式会社

I 法人の概要（平成 27 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区企救丘二丁目 13 番 1 号

2 設立年月日

昭和 51 年 7 月 31 日

3 代表者

代表取締役社長 齊藤 淳

4 資本金

3,000,000 千円

5 北九州市の出資金

3,000,000 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	2 人	5 人
常 勤	3 人	0 人	2 人	1 人
非常勤	4 人	0 人	0 人	4 人
職 員	122 人	0 人	0 人	122 人

7 市からのミッション

公共交通機関として重要な役割を担う北九州モノレールの安全・正確・快適な管理運営を行うとともに、経営を安定化させる。

II 平成 26 年度事業実績

当期においては、引き続きお客様の安全、正確、快適、利便性の向上に努め、さしたる事故もなく順調に運行を続け、平成 27 年 3 月に 3 億 3,333 万 3,333 人を達成する等、開業からの輸送人員は期末には 3 億 3,423 万人に達した。

当期は、前期末の消費税増税に伴う乗車券の先買い影響の反動減等により、前期を大きく下回る輸送人員となった。

運輸雑収についても、小倉壁面広告等の新規獲得等による増があったものの、ラッピング列車等期間満了または解約等による減等があり、前期を下回ることとなった。

一方、営業費は駅務機器更新に伴う試験費用等の増はあったが、修繕費や減価償却費の減等により、前期とほぼ同額となった。

固定資産除却損による特別損失を加味した当期純損益は前期に比べ悪化し、引き続き損失を計上することとなった。

当期の輸送人員は、1,137万人（前期比11万人、1.0%減）で、一日当りの輸送人員は、31,159人（前期比307人、1.0%減）となり前期より減少したが、前期に引き続き2年連続で31,000人台を確保した。定期外利用客は、前期末の消費税増税に伴う回数券の先買いに対する反動減等により、613万人（前期比10万人、1.6%減）となった。定期利用客は、消費税増税に伴う通勤・通学定期の先買いに対する反動減等により、524万人（前期比1万人、0.2%減）となった。通勤定期利用客は、308万人（前期比4万人、1.4%減）となった。通学定期利用客は、147万人（前期比3万人、2.3%減）となった。シルバーパス利用客は、順調に推移しており、69万人（前期比7万人、10.5%増）となり当期末有効枚数は994枚となった。

運輸収入は、輸送人員の減少に伴い、18億9,080万円（前期比3,528万円、1.8%減）となった。

運輸雑収については、小倉壁面広告等の新規獲得等による増があったものの、ラッピング列車等車両及び駅の既存契約分の期間満了または解約等による減があり、1億8,451万円（前期比733万円、3.8%減）となり、営業収益は20億7,531万円（前期比4,260万円、2.0%減）となった。

営業費は、修繕費の減、減価償却費の減があったものの、駅務機器更新に伴う試験費用等当期の特異的支出があり、前期とほぼ同額の22億3,256万円（前期比949万円、0.4%増）となり、当期の営業損益は、1億5,725万円の損失（前期比5,209万円、49.5%減）となった。

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、6,683万円の損失（前期比5,461万円、446.7%減）となった。

上記経常損益に特別損失を加え、法人税等を差し引いた当期純損益は、1億945万円の損失（前期比7,619万円、229.1%減）となった。

設備投資については、車両改造更新や通信ケーブル（平和通～旦過、徳力嵐山口～志井）新設を実施した。

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	16,740,445,983	(負債の部)	3,760,042,994
流動資産	1,688,289,849	流動負債	846,126,058
現金及び預金	1,419,828,654	未払金	670,142,700
未収運賃	17,382,390	未払費用	6,637,812
未収金	21,404,599	未払法人税等	15,401,700
未収還付法人税等	50,607	未払消費税等	25,354,869
貯蔵品	228,942,082	預り金	1,773,501
前払費用	651,999	前受運賃	64,405,106
その他流動資産	29,518	前受収益	18,430,910
		賞与引当金	43,979,460
固定資産	15,052,156,134	固定負債	2,913,916,936
軌道事業固定資産	14,844,135,486	長期借入金	1,300,000,000
建設仮勘定	141,078,448	退職給付引当金	348,035,800
投資その他の資産	66,942,200	預り敷金	1,959,000
		預り保証金	2,700,000
		再評価に係る繰延税金負債	1,261,222,136
		(純資産の部)	12,980,402,989
		資本金	3,000,000,000
		資本剰余金	6,871,521,775
		資本準備金	6,871,521,775
		利益剰余金	430,015,452
		繰越利益剰余金	430,015,452
		土地再評価差額金	2,678,865,762
資産合計	16,740,445,983	負債及び純資産合計	16,740,445,983

2 損益計算書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	決 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益	2,075,308,098	
営業費	2,232,562,533	
営業損失		157,254,435
軌道事業営業損失		157,254,435
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	249,162	
雑収入	90,173,684	90,422,846
営業外費用		
雑支出	1,820	1,820
経常損失		66,833,409
特別損益の部		
特別損失		
固定資産除却損	37,683,086	37,683,086
税引前当期純損失		104,516,495
法人税、住民税及び事業税	4,932,000	4,932,000
当期純損失		109,448,495

IV 平成 27 年度事業計画

《平成 27 年度の事業計画概要》

「北九州モノレール中期 5 か年計画」に基づき増収・利用促進施策や経費削減施策等を着実に実行することにより、経営改善に最善を尽くしていくとともに、引き続き安全、正確、快適、利便性の向上に努めていく。

(1) 主な事業

- ① 開業 30 周年記念（駅活性化策、ビール列車等、I C オープン記念など）
- ② 駅務機器更新（全国 I C 共通化による更新を実施）
- ③ 運賃改定（各区间一律 10 円値上げを実施）
- ④ ダイヤ改正（平成 28 年 3 月の J R ダイヤ改正に併せ、平日 1 便増便）

(2) 顧客サービスの向上施策

- ① お客様満足度調査実施
- ② ホーム乗降口改善、トイレ改善、駅周辺環境改善

(3) 増収・利用促進施策

- ① 運輸収入（団体利用の誘致活動の強化、他事業者・沿線施設等との連携強化）
- ② 運輸雑収（広告販売活動の強化、テナント誘致、パーク&ライドの推進）
- ③ その他（駅のにぎわいづくり）

(4) 経費削減施策

- ① 人件費（嘱託社員や臨時社員の活用、業務時間の見直し、時間外手当の削減）
- ② 設備更新費（実行段階での技術的な検討や施工方法の見直しによる事業費の削減）

V 平成 27 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	予 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益	2,106,000	
営業費	2,425,000	
営業損失		319,000
軌道事業営業損失		319,000
(営業外損益の部)		
営業外収益		
雑収入	93,000	93,000
経常損失		226,000
特別損益の部		
特別利益		
補助金	36,000	36,000
特別損失		
固定資産除却損	118,000	118,000
税引前当期純損益		308,000
法人税、住民税及び事業税	5,000	5,000
当期純損益		313,000

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	齊藤 淳	(株)スターフライヤー取締役〔兼任〕
代表取締役専務	藤澤 常憲	
取締役	大関 達也	北九州市建築都市局長〔兼任〕
常勤監査役	東 博幸	北九州市監察官〔兼任〕
監査役	中西 満信	北九州市建築都市局総務部長〔兼任〕
監査役	西妻 安治	株式会社福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長〔兼任〕

2 市との特命随意契約の状況（平成26年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州市モノレール小倉線軌道敷等維持修繕業務	323, 447	当該業務は軌道敷そのものを扱う維持補修等工事であり、国の指導（軌道経営者が維持修繕を行う）により維持修繕は軌道経営者である同社が行うこととなっている。（また、事故等発生時の迅速な対応などの面からも同社が行うことが適当であり、さらに同社所有の工作車を使用することで経費削減につながる。）	昇降設備保守点検・修繕	134, 193	日立ビルシステム、三菱電機ビルテクノサービス、東芝エレベータ、クマフ、ダイコー、シトラエレベータ、三精テクノジーズ	随意契約（特命）	昇降設備は、メーカーの設計、施工であり、メーカー独自の機器特性等に対応できなければならない。また、メーカーであれば下記に示す事項を充足している。 ①部品調達をメーカー自身が行うため、迅速、確実かつ安価 ②各メーカーの機器構造への最精通者は各メーカー技術者 ③メーカー独自の詳細図面を整理、所有 ④異常、緊急時の連絡体制の確立 ⑤責任所在の明確化
			エレベータ監視システム保守	389	セイコー電子	随意契約（見積合わせ）	
			照明管球及び器具取替	672	門電	随意契約（見積合わせ）	
			平和通北口連絡通路硝子取替	46	正峯工務店	その他	緊急工事請負業者
			信号設備（A-2）保守点検	15, 660	親和電設工業	随意契約（特命）	分岐器機器は、日立製作所の設計、施工であるため、その独自の機器特性等に対応できるのは日立製作所及び長年の実績を有し保守業者である当該業者しかなく、契約価格の比較において明らかに安価である。また夜間の施工は、迅速性かつ正確性が求められるため、新規業者の施工では施工箇所の不具合発生時の対応が迅速にできない。
			分岐器不具合調査	76			
			制御ケーブル取替	1, 749	親和電設工業	随意契約（見積合わせ）	
			駆動装置取替・T軸補修・安定面補修補助作業	551	親和電設工業	随意契約（見積合わせ）	
			本線分岐器シールシート取替	149	親和電設工業	随意契約（見積合わせ）	
			ベビコン・ベビコン防音箱	659	親和電設工業	随意契約（見積合わせ）	
分岐器空制機械取替	3, 888	親和電設工業	指名競争入札				

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			分岐器機器 重要部取替 分解修繕	25,650	日立製作 所	随意契約 (特命)	分岐器機器は㈱日立製作 所の設計、施工であるた め、その基本的な性能に係 わる部分の改良などの機 器特性等に対応できるの は㈱日立製作所しかない。 また夜間の施工は、迅速性 かつ正確性が求められる ため、新規業者の施工では 施工箇所の不具合発生時 の対応が迅速にできない。
			分岐器台車 揺動対策	9,612			
			ギヤモーター・サー ボリフター分解 修繕	546	日立産機シ ステム	随意契約 (特命)	分岐器機器は㈱日立製作 所の設計、施工であるた め、その独自の機器特性等 に対応できるのは㈱日立 製作所及び同社の子会社 の㈱日立産機システムし かなく、契約価格の比較に おいて明らかに安価であ る。
			ギヤモーター調査	108			
			ベビコン分解 修繕	175	日立産機シ ステム	随意契約 (見積合わせ)	
			分岐器シリンダ ー機器分解修 繕	1,880	ケイ・エス・ケイ	随意契約 (特命)	分岐器機器は㈱日立製作 所の設計、施工であるた め、その独自の機器特性等 に対応できるのは㈱日立 製作所及び長年の実績を 有し保守業者である当該 業者しかなく、契約価格の 比較において明らかに安 価である。
			ロックシリンダ ー追加修繕	691			
			ロックシリンダ ー追加修繕その2	323			
			ロックシリンダ ー内径スリーブ追加 修繕	440			
			電気設備改 修(平和通、 競馬場、企救 丘)	767	森友電機 製作所	随意契約 (見積合わせ)	
			T軸補修補助 作業(電力設 備)	1,140	トキエ電工 業	随意契約 (見積合わせ)	
			PC軌道桁そ り量計測	627	九州高架	随意契約 (見積合わせ)	
			軌道三項目 測定	9,817	九州高架	指名競争 入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			PC 軌道桁健全度評価	1,620	水空舎	随意契約 (特命)	当該業務は光ファイバー計測 (OSMOS システム) を用いて PC 桁の挙動変化を計測し、PC 桁の健全度評価を行うものであるが、当該業務は業者独自の特殊なものであり、かつ光ファイバー計測はモニタリング調査として継続した業務で、機器も当該業者の機器により行われている。また当該業者は前コンクリート委員会後の調査業務全般 (光ファイバー計測等) に亘り、下請業者として入り、当社の PC 桁の特性や A S R の状況に見識も十分あり、かつ全国的に各地のコンクリート構造物の劣化診断を行っており、技術的な判断や考察力においても十分な能力を有している。
			遊間測定業務	611	タルミ	随意契約 (見積合わせ)	
			ホーム先端補修	466	タルミ	随意契約 (見積合わせ)	
			PC 軌道桁動揺測定	1,026	タルミ	指名競争 入札	
			喰違い調整 工事	2,614	タルミ	指名競争 入札	
			建築限界測定 業務	1,382	タルミ	指名競争 入札	
			嵐山口駅舎 雨漏り補修	148	正峯工務 店	その他	緊急工事請負業者
			志井信号通 信機器室雨 漏り補修	65	正峯工務 店	その他	緊急工事請負業者
			ホーム先端補修	231	フジサキ	随意契約 (特命)	当該業務は、競馬場前駅下りホーム (企救丘方) のホーム先端金物の経年劣化により、先端金物が脱落する危険があるため早急な処置が必要と判断される。当該業者は同区間で支承補修工事を実施中で、道路規制、高所作業車を使用しているため、当該工事を迅速に施工することができる。

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			PC 軌道桁嵩 上げ補修	373	富士ビーク ス	随意契約 (特命)	北九州市発注の長寿命化 工事であるPC軌道桁嵩 上げ工事において一部欠 損が生じており、落下の危 険性があり早急な補修工 事が必要とされるが、施工 及び材料の特殊性から他 社での施工が困難である。 当該業者は同工事を受注 しており安全面でも対策 を講じている。
			鋼支柱補修	151	山九ロード・エ ンジニアリング	随意契約 (見積合わせ)	
			軌道工事に 伴う光ケーブル 移設	248	カンノエンジニア リング	随意契約 (見積合わせ)	
			風防ガラス等 小倉駅特別 清掃	669	JR九州メンテ ナンス	随意契約 (見積合わせ)	
北九州モノレ ール長寿命化 計画に基づく 工事の実施に 係る監督管理 の一部及びこ れに付帯する 業務の委託	3,442	北九州モノレール小 倉線軌道敷の長寿命 化工事に関する協定 (基本協定、H24.7.19 締結)に基づくもの。	再委託なし				
合 計	326,889		合 計	219,412			